

町内福祉村事業



神奈川県平塚市

平塚市町内福祉村



町内福祉村は、各地区に拠点を設置し、活動を行っています。拠点には、コーディネーターが配置され、地域の皆さんからの相談を受けたり、福祉村のボランティアに身近な生活支援活動を依頼します。福祉村で対応が難しい場合には、行政や関係機関などにつなげていきます。また、拠点では、地域の皆さんが気軽に立ち寄れる「居場所」として、ふれあい交流活動を行っています。

平塚市の概要

H26.1.1現在

■市域 面積 67.88km²
市街化区域 30.86km²
市街化調整区域 37.02km²

■人口 257,169人
世帯 105,773世帯

■高齢化率 24.1%

■財政 一般会計 (H26年度)
816億6,000万円 (前比 △ 1.2%)

■産業 第1次産業 2%
第2次産業 32%
第3次産業 66%



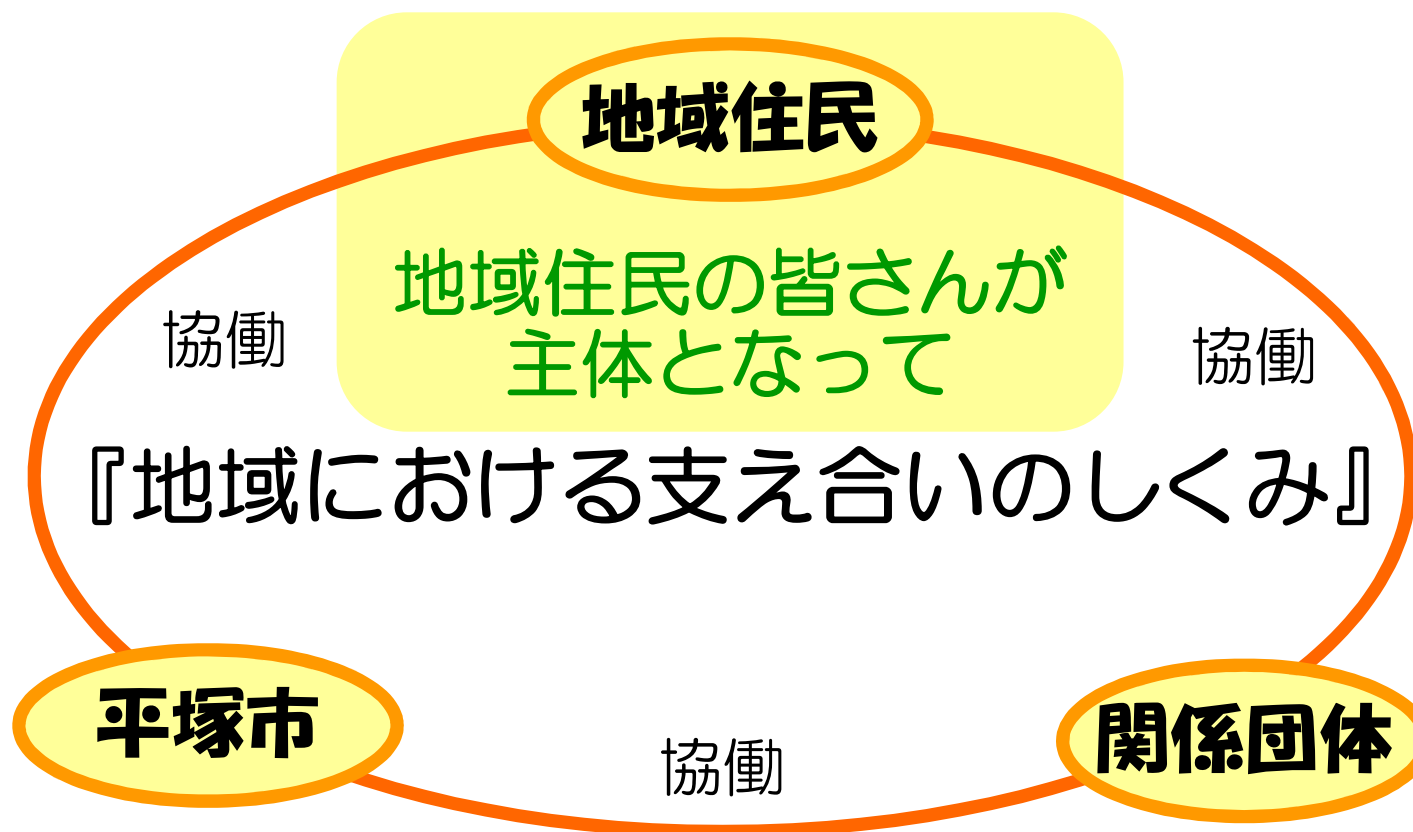
神奈川県



現在、福祉村はどの地区にあるの？



町内福祉村とは



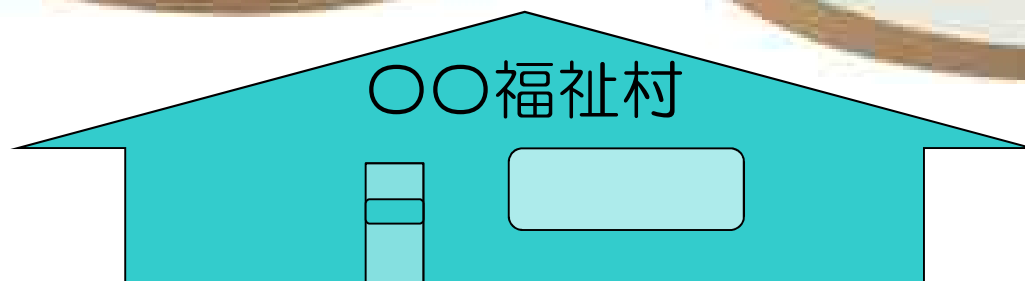


町内福祉村—2本の柱と拠点施設

活動の内容や方法は、
地域の皆さんが話し合いを重ね、
地域の状況に合ったものを創っていきます。

身近な生活支援活動
(地域ボランティア)

ふれあい交流活動
(居場所サロン)



身近な生活支援活動とは



インフォーマル



地域に住む援助を必要としている人が対象です。

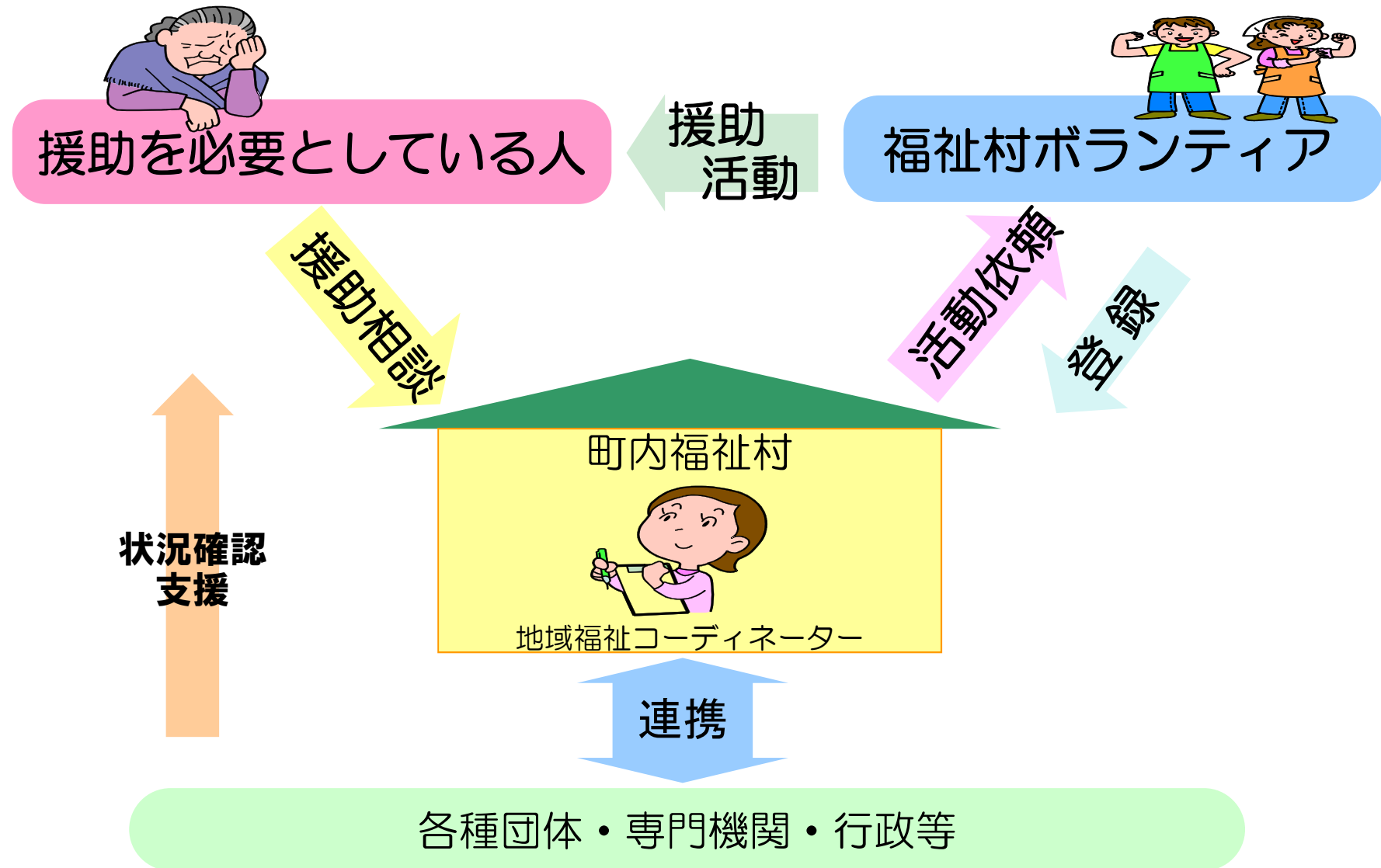
- ①ひとり暮らしの高齢者
- ②子育て中の人
- ③障がいのある人



ごみ出しの手伝い、
電球交換など

〔制度によるサービスでは解決できない
『ちょっとしたお手伝い』〕

☆身近な生活支援活動のしくみ



ふれあい交流活動とは

町内福祉村拠点

自治会館、
地区公民館など
地域資源を活用



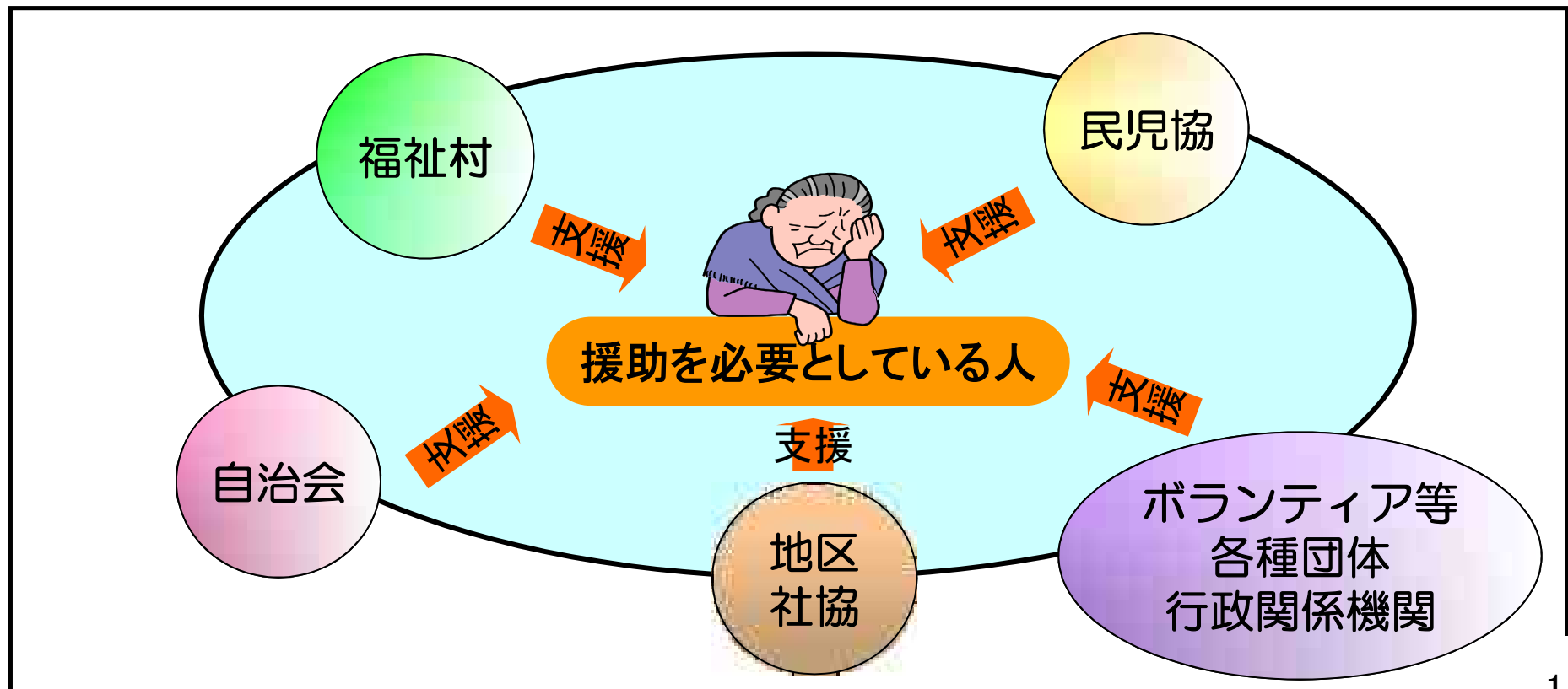
出向きサロン
各種イベント



『地域のつながり』を企画！

地域の中での福祉村の役割

- ①既存団体のすきまの活動
- ②新たな人材の発掘
- ③各団体等との連携・連絡調整



地区社協と福祉村の違い

地区社協	町内福祉村
構成 地域の各種団体役員を中心に構成された協議体	構成 個人参加を中心に構成されたボランティア団体
資金 地域からの賛助会費による事業運営	資金 市からの委託金による事業運営
拠点施設 なし (公民館等を利用して活動)	拠点施設 あり (市が負担)
役割 敬老祝賀会・ふれあい給食会など 地区全体を対象とした 行事的な事業	役割 ごみ出し、話し相手、茶話会、 子育てサロンなど ピンポイントで行う支援活動 日常的なサロン活動 新たな人材の確保